

広野文芸欄

季題 当季雑詠

広野町水無月句会

阿部 真生

夜の海霧不気味にこもる波の音
今年又佳きことあれよ燕の巢
夜も更けて蛙の声の高くなる

遠藤健太郎

語りつぐ二の宮任法柿の花
不如帰けふ一日をふり返る
額絵となる若桑かゞやくガラス窓

塩 史子

安眠を横切つて行く猫の恋
揚雲雀に応援されて畑仕事
朝の陽をあびてかゞやく早苗かな

西山子

風のほか触るるもの無き崖の藤
夏鶯たちまち心透き通る
行く末を波にゆだねて花筏

悟 峯

若葉寒小樽の朝を歩きけり
たらの木の葉のひろげたる夏の山
梅雨晴間フワフワドームに人だかり



酒井 津祢

松の芯園児の歌のひゞきけり
茄子トマト苗をそろへて日曜日
草叢の根方のあたり蛇莓

宮下 純子

群青の空高々と武者幟
石段を登るはらから余花の寺
新緑の杜の都に遊びけり

● 俳句会 会員募集 ●

俳句会は毎月1回、先生である 行行子
よりご指導いただいて活動しています。
入会ご希望の方は「俳句会 遠藤健太郎
☎ 2712412」まで

畜産農家を 訪ねて

シリーズ1

広野町では、7軒の農家が、広野町和牛部会に加入して和牛繁殖経営に携わっています。日々和牛の飼育に励んでいる会員を毎月シリーズで紹介します。

蓄主名

遠藤 一郎 さん
(大字折木)

蓄主歴

- 40年前に飼育を始め、現在は、子牛と合わせて3頭飼育している。

牛を飼育して良かったこと

- 堆肥を、田んぼ、畑に利用できること。
(夏草を牛舎に敷いた堆肥は田んぼに利用、冬場、藁、木の葉を牛舎に敷いた堆肥は、畑に利用。)
- 子牛の販売価格がよかった時。

牛を飼育して大変なこと

- 親牛の餌は、畑に蒔いた牧草、デントコーン、野菜くずを利用してはいるが、子牛の場合は、飼料を購入して餌にしなければならない。昨年あたりから餌代1袋あたり、500円位値上がりしてるので大変。



▲左から奥さんの信子さん、一郎さん

飼育するのに工夫していること

- 人間と同じで、健康を1番に考え、毎朝顔を見たり、糞を見たりしている。
- 衛生に注意して、毎朝、糞をとるようにしている。
- 湧き水を利用して、ウォーターカップを作って、牛がいつでも好きなだけ水を飲めるようにしている。
- 高齢なので、子牛のセリには、サポーター（子牛をセリの会場に引いてくれる人）をお願いして安全にセリができるようにしている。
- 牛の具合が悪い時は、獣医さんが頼りなので、早めに相談するようにしている。

和牛を導入して繁殖経営に取り組んでみたい方は、役場産業グループまでご連絡下さい。

広野町役場 産業グループ ☎0240-27-4163